





陸普 副官ヨリ技術本部長へ通牒

首題大砲八九七式曲射歩兵砲ト名稱改稱ノ上昭和十三年八月二日附陸技本甲第四七二號上申ノ通定メラルヘキニ付該図面(概説共)一三九部送付セラレ度

陸普第四七四號

昭和十四年一月卅日

高田

右送付アリタル後立案決行相成度

九七式曲射歩兵砲假制式制定ノ件

陸普 副官ヨリ別紙配賦表ノ箇所へ通牒

首題大砲別紙図面ノ通定ヲラレシニ付該図面(概説共)

(一)部送付ス

陸普第二三八六號

昭和十四年四月十七日

教育總監部及關東軍行ニハ(一)内ヲ別紙配賦表ノ通

ニ作ル

昭和十四年六月十三日

附屬品送付済

田

田

田





圖面添付

別紙添付

陸軍省 陸軍部 第九九三號

陸技本甲第四七一號

九七式大隊砲假制式制定セラレ度件上申

昭和十三年八月二日 陸軍技術本部長 久村 種 樹

陸軍大臣 板 垣 征四郎 殿

首題兵器左記圖面ノ通假制式制定セラレ度審査經過ノ概要並概説相添へ上申ス

追テ普通兵器トシテ制定セラレ度

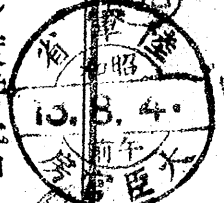
左 記

一 九七式大隊砲圖面(全体)

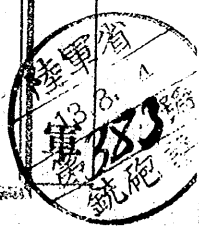
一部

二 九七式大隊砲審査經過ノ概要並概説

二部



陸



九七式大除砲審査経過ノ概要

昭和十二年七月  
陸軍技術本部

陸軍

一 審査ノ起因

昭和十二年七月二十一日陸機密第九二號陸軍技術本部兵器研究方針ニ依ル

研究方針

現制ノモノニ比シ輕易ナル大除砲ニシテ「ストロークプラン」砲類似ノモノニ就キ研究ス主要諸元次ノ如シ

ノ口 徑 八一 耗

2 彈 量 榴 彈 約 三 疋 三 〇 〇  
榴 彈 約 六 疋 七 〇 〇

3. 射 程 最大 榴 彈 約 三、〇〇〇 米  
大型 榴 彈 約 一、二〇〇 米

最少 榴 彈 約 二〇〇 米  
大型 榴 彈 約 六〇〇 米

4 放列全備重量 約 六五 疋

上運動様式

車載駄載又ハ人力搬送

ニ審査経過ノ概要

昭和十二年五月設計ニ着手シ全年六月試製ヲ大阪工廠ニ注文シ同年十一月試製完了セルヲ以テ第一回試験ヲ同年十二月第二回試験ヲ實施シ昭和十三年五月陸軍歩兵學校ニ實用試験ヲ委託シ「一般大隊砲トシテハ適當ト認め難シ但シ駄馬編成師團ノ大隊砲或ハ一般歩兵聯隊ノ増加裝備歩兵砲トシテハ適當ナルモノト認めム」ト判決ヲ得タリ

別ニ昭和十二年度北滿冬季試験ニ供試シ本砲ハ酷寒季ニ於テ取扱容易、機能良好ニシテ概ネ實用ニ適ス「トノ判決ヲ得タリ  
以上諸試験ノ結果所要ノ改修ヲ施シ概ネ研究方針所期ノ要求ヲ充足セリ

本砲ニ關スル審査経過以上ノ如クニシテ假制式トシテ制定セラレ適當ナルモノト認め制定方上申ニ及ヘリ

九七式大隊砲概説

第一 主要諸元

八一耗三

砲身長 一米二二九

彈量 榴彈三疋二八五  
重榴彈六疋二四〇

最大射程 榴彈 二八〇〇  
重榴彈 一一〇〇〇

高低射界 四五度乃至八五度

方向照準螺ニ依ル 射角四五度ニテ 一〇〇密位  
射角六五度ニテ 一三九密位

方向射界 脚ノ移動ニ依ル 射角四五度ニテ 八一四密位  
射角六五度ニテ 一三一五密位

放列砲車重量 七六疋五〇〇

運動様式 車載狀載並ニ人力搬送

陸軍

## 第二 構造ノ概要

本砲ハ砲身、脚、床板ノ主要部ヨリ成リ之レニ所要ノ屬品ヲ附屬シ  
車載、駄載、人力搬送ニヨリ運搬ス

車載ニアリテハ三九式輜重車ニ所要ノ設備ヲ施シテ火砲屬品ノ一切  
ヲ一車ニ車載シ駄載ニアリテハ火砲ノ主要部ヲ砲馬ニ屬品類ヲ若干  
ノ彈藥ト共ニ屬品屬ニ駄載ス又人力ニヨリテ搬送スル場合ニ在リテ  
ハ砲身、脚、床板ヲ各一人ニテ運搬ス

火砲各部ニ就キ構造ノ概要ヲ述ブレハ次ノ如シ  
一 砲身及擊發機

砲身ハ滑腔砲身ニシテ前裝式トシ擊發機ハ砲尾ニ收容セラレ擊針  
ハ砲尾内面ニ突出シアリテ裝填ト同時ニ發火ス不發ニ際シ彈藥ヲ  
抽出スル場合等ヲ考慮シ擊針ヲ後退セシムル安全裝置ヲ裝着ス  
ニ脚ハ連結架ヲ以テ砲身ヲ抱持シテ砲身前部ヲ支持シ螺旋式ノ高低、  
方向照準機ヲ有シ且ツ所謂砲身軸傾斜ノ修正裝置ヲ有ス  
連結架内ニ緩衝機ヲ有シ射擊ニ方リ床板ノ沈下ニヨリ生起スル脚



ノ仰起ノ影響ヲ砲身ニ及スヲ防止ス

床板ハ砲尾ノ球部ヲ收容シテ砲身後端ヲ支持ス床板ニハ凍結地ニ於テ射撃スル場合ヲ考慮シソノ後退防止ノタメ駐鋤ヲ附屬ス

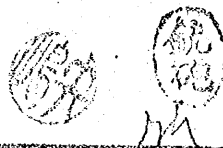
#### 四 照準具

「コリマトール」式ニシテ射角並ニ方向分靈共ニ密位ヲ以テ目盛リシ脚ニ装着セル方向誘導螺托架ノ左側ニ装着ス

#### 第三 放列布置並撤去

放列ヲ布置スルニハ概ネ主線ノ方向ニ向テ如ク床板ヲ設置シ砲身ヲ載セ砲身前部ヲ脚上ニ載セ連結架ヲ緊定シ照準具ヲ装着ス  
放列ヲ撤去スルニハ概ネ布置ノ場合ノ反對ノ操作ニヨル

1721



十三年  
参九九三一

陸技本甲第二一四號

九七式曲射歩兵砲圖面並概説送付ノ件通牒

昭和十四年四月十五日

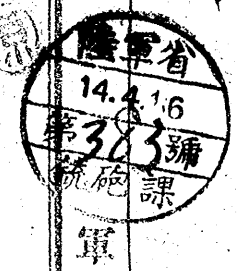
陸軍技術本部副官 筒井

陸軍省副官 國分新七郎 殿

本年一月三十日附陸普第四七四號通牒ニ係ル首題ノ圖面並概説

(圖面壹枚) 概説壹枚) 各百參拾九通送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上銃砲課へ直送可致ニ付承知セラレ度



993



副官ヨリ別紙配布表ノ箇所へ通牒

昭和十四年四月十七日附陸普第二三八六號制定ニ依ル首題兵器對スル細部圖(五拾參枚)一部送付ス

陸普第四九五〇號

昭和十四年八月九日

附屬品送付済

昭和十四年八月十五日

南東(軍)行ニハ(一)カヲ別紙配布表送ニ作ルフト





1725



陸軍省  
第九三  
二

陸技本甲第四八五號

九七式曲射歩兵砲細部圖送付ノ件通牒

昭和十四年八月五日

陸軍技術本部

陸軍省副官 川原 直一 殿

本年四月十七日附陸普第二三八六號制定ニ係ル首題兵器ニ對スル細部圖（五拾參枚）調製中ノ需完了セシニ付百四拾五枚送付ス



陸軍